

## 2021年度 水球男女ユニバーシアード・ジュニア・ユース日本代表選手選考要項

公益財団法人日本水泳連盟  
水球委員会

### 1 2021年度国際派遣試合

本要項は次の大会への水球日本代表ジュニア・ユース選手団(男女)の編成を定めるものである。但し、(公財)日本水泳連盟水球委員会(以下「水球委員会」という。)は、現在、2021年については下記①から③の大会への参加を検討しており、大会への不参加が決まった場合には、本要項は適用されない。

ユニバーシアード(出場資格年齢FISU規定)

第31回夏季ユニバーシアード大会

【男女共催】8月16日～27日 中国・成都

ジュニア(20歳以下)

① 世界ジュニア選手権大会

【女子】2021年8月28日～9月5日(開催地未定)

【男子】2021年9月10日～9月18日(開催地未定)

② アジアジュニア選手権大会

【男女共催】開催可否未定

ユース(18歳以下)

① アジアユースゲーム大会(年齢枠など詳細未定)

【男女共催】2021年11月20日～11月28日(中国・汕頭)

### 2 代表選手の選考要項

#### 1) 原則的選考方法

- 1 本連盟選手選考委員会(以下、「選手選考委員会」という。)は、2021年度国際派遣大会の各代表選手(補欠を含む、以下同じ。)を選考する。その手続は次のとおりとする。
  - ① 代表監督は、水球委員会に対して、代表選手案を提案する。
  - ② 水球委員会は選手選考委員会に対して、代表選手案を推薦する。
  - ③ 水球委員会における選考は、満場一致を原則とするが、委員の意見が分かれた場合は、多数決をもって決する。
- 2 代表選手の人数は、13人から16人の範囲で、選手選考委員会が決定する。
- 3 水球委員会における代表選手選考は、所属チームが国内であるか国外であるか問わず、次の大会等(但し、各代表選手の選考日までに実施されるものに限る)における各選手のパフォーマンスを参考に選考する。
  - ・ 2019年度アジアエージグループ選手権大会
  - ・ 2019年度全国JOCジュニアオリンピックカップ
  - ・ 2019年度日本高等学校選手権
  - ・ 2019年度国民体育大会
  - ・ 2019年度全日本ユース(U15)水球競技選手権大会
  - ・ 2020年度第6回 全日本ジュニア(U17)水球競技選手権大会
  - ・ 2020年度日本学生選手権大会
  - ・ 2020年度日本選手権(各予選会を含む)
  - ・ 国内強化合宿

- 4 選考対象となる国際/国内大会等において不参加、または怪我などの事由により十分な能力が発揮出来なかった場合は、選手及び所属監督連名で、水球委員会に対して、書面をもって、当該選手に対して追加の評価の機会を与えることを申し入れることができる。水球委員会は、この申し入れがあった場合は、評価の機会を追加することができる。
- 5 代表として選考された選手が新型コロナウイルス(COVID-19)感染等、選考要項 1 に示された国際大会への参加が不可能となった場合、補欠選手を日本代表選手として繰り上げる。

## 2) 代表選手の除外

- 1 代表選手として選出された者が、下記に該当する行為を行った場合は、水球委員会は、当該選手を代表選手から除外することができる。
  - ・ 日本代表選手行動規範を遵守できなかった者
  - ・ 代表監督の戦術の指示に従わなかった者
  - ・ チームワークを乱す行動を取った者
  - ・ その他日本代表チームの目標に対して不利益と思われる行動及び言動を取った者
- 2 代表選手として選出された者が、代表選手除外2)1 に該当する行為を行った場合は、水球委員会は当該選手を代表選手から除外することができる。

## 3) 代表選手の強化方針

- 1 代表監督は代表選手に対して、「日本代表が目指す強化方針」を説明し、この強化方針 に従って強化に努める。
- 2 代表選手の強化は、所属チーム及び国内強化合宿における強化を併用する。
- 3 国内強化合宿において強化を図る選手は、代表監督(男・女)が決定する。
- 4 代表監督は、必要に応じて前項以外の者を国内強化合宿に招集することができる。

## 3 選考要項の説明方法

- 1) 水球委員会は、2020年11月13日、本選考要項案を決定し、その後、2020年12月8日日本連盟臨時常務理事会での承認を得た。
- 2) 水球委員会は、本連盟ホームページによる告知により、本選考要項を選手に周知させる。
- 3) 水球委員会は、代表選手が決定して強化が開始されるまでに、「日本代表が目指す強化方針」を策定し、上記の方法により代表選手に周知させる。

以上